

# 倉敷の自然をまもる会（倉敷市の自然環境の整備と自然活動基地づくり）

事務局所在地：倉敷市西中新田640 倉敷環境保全課内 代表者氏名：河邊誠一郎  
電話番号：086-426-3391 FAX番号：086-426-6050

## 調査研究の目的

倉敷市の最北部：福山麓の奥西坂地区には、かつて良好な里山自然環境が残っていた。しかし、近年の手入れ不足などから、この地も荒廃が進んでいる。倉敷の自然をまもる会は、ここにある市の遊休地（溜め池・湿地の埋立地）を借り受け、子どもから大人までが集い、汗を流して働き、自然を満喫し、楽しむことのできる活動基地を作ること計画した。ここに湿原や散策路を復活させ、自然観察・体験コースをつくり、谷川の流れ・溜め池の整備を行って、子どもたちが安全に遊べる場所を確保するとともに、倉敷市の鳥：カワセミの営巣地第1号も作る。そして、植物・昆虫・鳥・魚など、豊富な自然溢れるビオトープ作りを行っていく中で、倉敷市の里山整備保全のためのモデル基地作りを行うことを目的とした。

また、本事業は、倉敷市が推進している市民企画提案事業をも取り込み、まもる会会員だけでなく、市、地元、一般市民とのボランティア協働事業として実施した。

## 調査研究の経過

2004年8月のまもる会理事会で、会設立30周年の記念行事として、倉敷市の鳥：カワセミの営巣地づくりが提案された。生息調査の結果、奥西坂周辺の溜め池にも、これまでつがいのカワセミが訪れていることが分かった。ここでは、それまで一部の会員が自主的に里山整備（竹やぶの掃除や草刈りなど）や炭焼き活動を行っており、周辺も素晴らしい自然環境が残っている。周辺を歩き、地元の人たちから話を聞き、この周辺の池、市所有の埋立地・谷川、地元入会地、鉦山跡地、田園・小川・果樹園など一体化し整備すると、素晴らしい自然基地が生まれる可能性があることを確信した。我々の手で、上手に環境整備し、自然基地化することにより、カワセミの生息・繁殖の地としてだけでなく、人間も含めて、あらゆる生きものが快適に過ごせる里山が作り出せるのではと考えた。

早速、この地を自然活動基地として整備することを会として決定し、市有地：溜め池埋め立て地跡の借用と鉦山跡地を含む周辺入会山地の自然整備を前提とした使用をさせてもらうなど、市と地元の全面的協力を得ることになった。2005年春から、会員有志による埋立地広場や丘陵の小路の草刈・清掃が本格的に行われ、子どもたちの自然活動基地としての利用も始まった。会の基金を利用したカワセミ営巣地作りの工事着工もこの地に決定したが、資金不足から周辺への十分な整備には何年もかかるものと考えていた。しかし、6月に福武文化振興財団から、さらに、8月には倉敷市の市民提案事業からの助成が決まり、一気に広場整備と営巣地作りの事業が進展するところとなった。整地された広場では現在子ども自然活動教室が月3～4回行われており、大人たちは、より安全で楽しく散策できる自然溢れる場所づくりに励んでいる。

## 調査研究の成果

これまで埋め立てたまま放置され、セイタカアワダチソウが茂り放題となっていたところを、我々倉敷の自然をまもる会のメンバーを中心に、そこを利用する子どもたちとその指導NPO関係者、学生（倉敷芸術科学大学の研究と学習）、地元の人たちや市の関係者の協力を得て、自然活動広場：基地としての基礎整備が実施できた。

具体的には、埋立地跡広場の整地と除草、簡易トイレの設置、駐車場の整備、周辺丘陵の草刈による散策路の整備と復活、隣接鉦山跡地・坑道の清掃と整備、沼地の清掃と湿地回復・整備（木道設置）、谷川の清掃、果樹苗（ブルーベリー）の植樹と整地広場のクローバーによる緑化、そしてカワセミブロック（4連営巣式）の設置、子ども基地として可動式巨大竹組みパオ建設、竹林の整備・伐採と炭焼きなど、盛りだくさんの事業が行えた。

本事業への参加者は、子どもたち、学生を含め、延べ約500人以上にのぼる。

## 今後の課題と問題点

子どもたちが自由に楽しく自然と触れあい遊べる広場作りのため、既存谷川、沼、湿地を利用して小川のあるビオトープをつくるため、広場を掘削整備する。掘り取った土砂は広場に山積みし子どもの遊び場所として活用する。

周辺に山桜や果樹などの栽植を行う。谷川から水を引き、ビオトープに水を周年確保するために堰の設置を考える。カワセミが営巣ブロックを使用できる環境を整える。より多くの人たちの参加のため、ボランティア登録システムの整備や、基地の自然を多くの人たちに知ってもらえるよう、広報・案内方法を考える。この奥西坂の自然基地整備事業をモデルとして、市の他の地域へも里山整備・自然基地作りを広げて行くことが大切であると考えます。

●執筆：河邊誠一郎

「奥西坂」で緑の広場、水路やビオトープづくり

### 荒れた里山 自然基地に

倉敷の自然をまもる会（河邊誠一郎会長）は、倉敷市西坂の山中で「自然基地」造りを進めている。多種多様な植物が生え、市民が自然の中でゆったりと過ごす拠点とする。



倉敷の自然をまもる会（河邊誠一郎会長）は、倉敷市西坂の山中で「自然基地」造りを進めている。多種多様な植物が生え、市民が自然の中でゆったりと過ごす拠点とする。

倉敷の自然をまもる会（河邊誠一郎会長）は、倉敷市西坂の山中で「自然基地」造りを進めている。多種多様な植物が生え、市民が自然の中でゆったりと過ごす拠点とする。

倉敷の自然をまもる会（河邊誠一郎会長）は、倉敷市西坂の山中で「自然基地」造りを進めている。多種多様な植物が生え、市民が自然の中でゆったりと過ごす拠点とする。

平成18年3月4日 山陽新聞倉敷市民版より